

昭和41年度 町歳入歳出決算の概要報告

収入役 笹原 一

(一)

経過

昭和四十年度決算は九月定例町議会に承認を求める提案をいたしましたところ、町議会はただちに決算特別委員会を組織し、木村喜八議員を委員長として、十月二十三日より本格的な決算の審査を開始しました。十一月十六日終了しました。

十二月定例町議会に木村喜八議員長から四十年度決算認定の報告がなされ、満場一致で可決となつた。

(二) 九月提案の意義

(表A) 昭和41年度会計別決算総括表

区分 会計名	予算現額	才 入			才 出			単位千円
		調定額	収入済額	欠損額	未収額	対予算増減	支出済額	
一般会計	489,368	474,578	464,735	419	9,424	△ 24,633	463,206	26,161
災害復旧会計	4,783	5,751	5,303	—	448	520	4,749	34
国保会計	92,363	110,047	99,155	427	10,465	6,792	88,581	3,782
福祉相談貸付会計	1,114	1,277	1,236	8	33	122	746	368
継子簡易水道会計	4,437	4,719	4,660	—	59	223	4,420	17
米財産区会計	6,993	11,001	10,971	—	30	3,978	6,538	455
坊沢財産区会計	5,107	10,094	10,094	0	0	4,987	4,315	792
七座財産区会計	1,274	1,060	1,060	0	0	214	1,056	218
沢口財産区会計	3,185	3,419	3,071	0	348	114	2,483	702
七日市財産区会計	6,284	6,242	6,242	0	0	42	6,163	121
合 計	614,908	628,188	606,527	85420	8,07△	8,381	582,257	32,650

要 摘要

年度予算の編成が早められた今日において、これが木来の姿だと存じますので、今後においてもこのスケジューを崩さず、九月提案をしてくださいます。

(三) 決算の概要

年度予算が正常となつて翌町財政が正常となつて翌年にかけて、これが木来の姿だと存じますので、今後においてもこのスケジューを崩さず、九月提案をしてくださいます。

要 摘要

年度内における重点施策と問題点をとらえて簡単にご

(B表) 一般会計才入内訳表

区分 款別	予算額	調定額	収入額	不 納 未収額	取 扱 額	対予算 増 減	対調定 収入率	備 考	単位千円
1町 稅	123,871	130,849	124,342	365	6,142	471	95.0%		
2地方交付税	136,652	138,827	138,827	—	—	2,175	100.0		
3分租金及貯租	5,465	5,365	5,332	—	33△	133	99.4		
4使用料及手数料	6,577	8,458	6,534	54	1,870	43	77.3	未収、貸家、ごみ	
5国庫支出金	50,909	49,707	49,093	—	614△	1,816	98.8	未収、児童措置費	
6県 支出金	23,756	23,691	23,691	—	—	65	100.0		
7財産 収入	89,809	65,876	65,501	—	375△	24,308	99.4	未収、貸地料	
8寄付 金	6,364	6,261	6,261	—	—	103	100.0		
9繰 入 金	3,579	3,578	3,188	—	390△	391	89.1	未収、前山部落390	
10繰 越 金	6,164	6,165	6,165	—	—	1	100.0		
11諸 収 入	5,121	4,703	4,703	—	—	418	100.0		
12町 債 債	31,101	31,100	31,100	—	—	1	100.0		
合 計	489,368	474,578	464,735	419	9,424	△ 24,633	97.9		

④ 儲入について

B表通り一般会計の歳

入について

は町税収入の半

も年々向上してお

りますが

未収額百四十五

万円が六百十四万

円が町税の未納であります。

す。幾多の事業を発行し

てくには一に町税二〇〇

完納が是非共必要なこと

なりますから又絶対

なるご協力をお願い

します。

以上ははなはだ簡単でござりますが決算の概要報告といたします。

